



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
 コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 悦哉
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 小峰 雅 (TEL) 022-385-7692
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	24,899	12.9	1,027	44.1	1,153	45.9	647	36.2
2022年3月期第3四半期	22,057	—	712	—	790	—	475	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 693百万円(54.2%) 2022年3月期第3四半期 449百万円(—%)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	93.29	—
2022年3月期第3四半期	68.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	32,172	17,908	50.1
2022年3月期	30,271	17,561	52.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 16,107百万円 2022年3月期 15,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2023年3月期	—	20.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正に関する詳細につきましては、本日公表の「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.3	1,400	14.0	1,500	10.7	900	9.3	129.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 ()、 除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の : 有
会計処理の適用

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年 3 月期 3 Q	7,004,000株	2022年 3 月期	7,004,000株
② 期末自己株式数	2023年 3 月期 3 Q	56,970株	2022年 3 月期	64,119株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年 3 月期 3 Q	6,943,465株	2022年 3 月期 3 Q	6,937,007株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に当たり適用した特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の抑制と社会経済活動の両立に向けた政府の各種政策により景気に持ち直しの動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化に加え、大幅な為替変動、物価上昇の影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の売上高は248億99百万円と前年同四半期に比べ28億41百万円(12.9%)の増加となり、営業利益は10億27百万円と前年同四半期に比べ3億14百万円(44.1%)の増加、経常利益は11億53百万円と前年同四半期に比べ3億62百万円(45.9%)の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億47百万円と前年同四半期に比べ1億72百万円(36.2%)の増加となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業の売上高は、157億19百万円と前年同四半期に比べ18億2百万円(13.0%)の増加、営業利益は13億43百万円と前年同四半期に比べ2億54百万円(23.3%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、溶解アセチレン、酸素及び窒素は需要が減少したものの調達コスト増加に伴う販売価格の改定に加え、アルゴンは発電所工事向けに、水素は石英加工向けに、食品用ガスは行動制限の緩和を受け外食産業向けに需要が増加、液化石油ガス及び石油類は輸入価格の上昇の影響を受け、売上高は増加しました。

利益面におきましては、電気料金の大幅な上昇に伴う製造コストの増加に加え、水素は調達コストが増加しましたが、食品用ガスの出荷量が大幅に増加したこと、前年に実施した多賀城工場の大規模定期修理がなかったこと等により、営業利益は増加となりました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業の売上高は、74億87百万円と前年同四半期に比べ10億55百万円(16.4%)の増加、営業利益は2億90百万円と前年同四半期に比べ1億32百万円(84.5%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、溶接材料は販売価格を改定したことに加え、溶接切断器具は大型工作機械の需要が増加したこと等により売上高は増加しました。営業利益は、売上総利益の増加に伴い増加となりました。

自動車機器関連事業

自動車機器関連事業の売上高は、8億99百万円と前年同四半期に比べ3億28百万円(57.4%)の増加、営業損益は前年同四半期に比べ47百万円増加し、32百万円の営業利益(前年同四半期は14百万円の営業損失)となりました。

当部門の状況といたしましては、自動車部品メーカーの設備投資需要の回復を受け、営業利益を確保しました。

製氷機関連事業

製氷機関連事業の売上高は、5億64百万円と前年同四半期に比べ3億50百万円(38.3%)の減少、営業利益は32百万円と前年同四半期に比べ9百万円(39.5%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、製氷・冷凍機械の大型物件に対する仕掛の減少により売上高及び売上総利益は減少しましたが、販売費及び一般管理費は前期に発生した保証工事等が大幅に減少したこともあり、営業利益は増加しました。

その他

その他の事業部門の売上高は、2億28百万円と前年同四半期に比べ6百万円(3.0%)の増加、営業利益は38百万円と前年同四半期に比べ8百万円(27.2%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、医療機器の需要が増加したことにより、売上高及び営業利益は増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、321億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億円の増加となりました。この主な要因は、器具器材関連事業及び自動車機器関連事業の売上高が増加したこと等により売上債権等が増加（17億63百万円）したことによるものであります。

負債は、142億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億53百万円の増加となりました。この主な要因は、器具器材関連事業及び自動車機器関連事業の売上高増加に伴う仕入債務が増加（18億13百万円）したことによるものであります。

純資産は、179億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億47百万円の増加となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる減少（3億47百万円）がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上（6億47百万円）したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,329,442	8,260,596
受取手形、売掛金及び契約資産	6,409,028	6,849,441
電子記録債権	1,858,999	3,182,488
商品及び製品	1,024,008	1,229,785
仕掛品	8,697	57,823
原材料及び貯蔵品	123,703	122,998
その他	241,617	321,795
貸倒引当金	△17,070	△18,013
流動資産合計	17,978,428	20,006,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,394,318	3,375,383
機械装置及び運搬具（純額）	767,324	701,319
土地	5,572,578	5,620,455
その他（純額）	333,473	324,493
有形固定資産合計	10,067,695	10,021,652
無形固定資産	195,055	166,148
投資その他の資産		
投資有価証券	1,097,898	1,051,447
その他	965,134	958,685
貸倒引当金	△32,580	△32,447
投資その他の資産合計	2,030,453	1,977,685
固定資産合計	12,293,204	12,165,486
資産合計	30,271,632	32,172,402
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,908,297	5,994,811
電子記録債務	675,587	1,402,078
短期借入金	3,230,000	3,330,000
1年内返済予定の長期借入金	121,792	113,416
未払法人税等	311,374	213,067
賞与引当金	382,304	191,164
役員賞与引当金	18,994	—
その他	956,950	1,025,718
流動負債合計	10,605,299	12,270,255
固定負債		
長期借入金	56,968	2,000
役員退職慰労引当金	419,617	371,886
退職給付に係る負債	1,359,147	1,359,653
資産除去債務	5,976	31,486
その他	263,080	228,337
固定負債合計	2,104,790	1,993,364
負債合計	12,710,090	14,263,620

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	1,122,978	1,120,578
利益剰余金	12,524,008	12,824,198
自己株式	△83,413	△73,112
株主資本合計	15,824,573	16,132,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,011	△24,980
その他の包括利益累計額合計	1,011	△24,980
非支配株主持分	1,735,956	1,801,096
純資産合計	17,561,541	17,908,781
負債純資産合計	30,271,632	32,172,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	22,057,554	24,899,487
売上原価	15,134,099	17,527,080
売上総利益	6,923,455	7,372,406
販売費及び一般管理費	6,210,601	6,344,921
営業利益	712,853	1,027,485
営業外収益		
受取利息	431	675
受取配当金	12,266	12,577
受取賃貸料	64,478	95,558
持分法による投資利益	—	2,737
その他	60,970	81,161
営業外収益合計	138,146	192,710
営業外費用		
支払利息	23,632	23,630
賃貸費用	21,110	40,411
持分法による投資損失	10,383	—
その他	5,077	2,763
営業外費用合計	60,203	66,805
経常利益	790,796	1,153,390
特別利益		
固定資産売却益	22,927	7,988
投資有価証券売却益	22,025	—
特別利益合計	44,952	7,988
特別損失		
固定資産除売却損	11,543	2,876
減損損失	8,341	893
補助金返還損	—	367
特別損失合計	19,884	4,137
税金等調整前四半期純利益	815,864	1,157,240
法人税等	309,337	430,775
四半期純利益	506,527	726,464
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,013	78,690
親会社株主に帰属する四半期純利益	475,514	647,774

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	506,527	726,464
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,120	△32,925
持分法適用会社に対する持分相当額	△578	112
その他の包括利益合計	△56,698	△32,812
四半期包括利益	449,828	693,651
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	430,960	621,782
非支配株主に係る四半期包括利益	18,868	71,869

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車 機器関連 事業	製氷機 関連事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	13,916,739	6,432,515	571,328	127,558	21,048,141	154,234	21,202,376	—	21,202,376
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	787,708	787,708	67,470	855,178	—	855,178
顧客との契約から生じる収益	13,916,739	6,432,515	571,328	915,266	21,835,850	221,704	22,057,554	—	22,057,554
外部顧客への売上高	13,916,739	6,432,515	571,328	915,266	21,835,850	221,704	22,057,554	—	22,057,554
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	13,916,739	6,432,515	571,328	915,266	21,835,850	221,704	22,057,554	—	22,057,554
セグメント利益又は損失(△)	1,088,848	157,321	△14,898	23,338	1,254,609	29,992	1,284,602	△571,748	712,853

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△571,748千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車 機器関連 事業	製氷機 関連事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	15,719,226	7,487,521	899,341	214,340	24,320,430	182,235	24,502,666	—	24,502,666
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	350,605	350,605	46,215	396,820	—	396,820
顧客との契約から生じる収益	15,719,226	7,487,521	899,341	564,946	24,671,036	228,450	24,899,487	—	24,899,487
外部顧客への売上高	15,719,226	7,487,521	899,341	564,946	24,671,036	228,450	24,899,487	—	24,899,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	15,719,226	7,487,521	899,341	564,946	24,671,036	228,450	24,899,487	—	24,899,487
セグメント利益	1,343,037	290,267	32,318	32,549	1,698,173	38,156	1,736,330	△708,845	1,027,485

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△708,845千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、「自動車機器関連事業」の売上高が自動車部品メーカーの設備投資需要の回復を受け増加し、セグメント資産が861,047千円増加しております。